

2023 年度 小規模多機能ホームかりぱ サービス評価

1. 初期支援 (はじめのかかわり)	メンバー	松田、鷺谷、佐藤、工藤、山下、吉川、森本
--------------------	------	----------------------

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	9人	2人	0人	12人

前回の改善計画	利用開始前にミーティングする、参加できなかった職員は記録を読んで情報共有する。
前回の改善計画に対する取組み結果	職員会議やミーティングで利用開始前に情報共有するようにしているが、利用開始までの期間が短く開催できないときにはフェースシート (基本情報) を個々で確認している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	0	11	1	0	12
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	0	12	0	0	12
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	3	9	0	0	12
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	0	11	1	0	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①	フェイスシートで事前情報を確認している。/7名 職員会議で事前情報を共有している。/6名 ケアマネージャーからの情報共有や引継ぎなど、口頭で事前情報を把握している。/4名
②	利用しながらアセスメントし、必要なサービスにつなげている。/2名 事前情報をもとに何が必要かを理解したうえで支援している。/1名 フェイスシートではわからない点や変化などがあれば記録し、職員間で情報共有している。/2名
③	不安を軽減できるよう工夫しながらこまめな声掛けを行っている。/5名 本人の表情や様子などを観察し対応している。/1名
④	送迎時に家族と体調や通いでの様子など情報共有している。/4名

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
①	契約から利用開始までの期間が短い場合は事前情報を把握しきれない。/3名 利用開始前に把握されていない課題が多く、利用後に生活全体の把握をしている。/3名 日常業務に追われフェイスシートを見る時間が取れないことがある。/1名 ミーティングの開催日時の確保が難しく、利用前にミーティングできていない。/3名
②	家族の思いと本人の思いに差があり、すべての不安に対応することができない。1名 事前情報と実際の様子に差があり、必要な支援がわからないことがある。/1名
④	併設しているサービス付き高齢者向け住宅ぼろか入居者の家族と接する機会が少なく、情報共有できていない。/1名

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
ミーティングの時期と開催担当を決め予定に組み込んでいく	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年9月8日(17:21~17:50)

2. 「～したい」の実現(自己実現の尊重)

メンバー 松田、鷺谷、佐藤、工藤、山下、吉川、森本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	11人	1人	0人	12人

前回の改善計画
ケアプラン、小規模計画書を読み内容に沿ったサービスを提供する
前回の改善計画に対する取組み結果
ケアプラン、小規模計画書を把握し内容に沿ったサービス提供をしている職員もいるが、計画書を確認せずADLや本人の普段の様子を把握し職員個々にサービスを提供している。また計画書の変更に気付かないことがある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	0	11	1	0	12
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0	9	3	0	12
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	9	3	0	12
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	0	11	1	0	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①～③具体的な訪問手順をもとに、職員によって差異のないサービスを提供している。/1名 日常的なかかわりの中で利用者を観察し、意思を汲み取りながら対応している。/4名	
④カンファレンスでケア内容の振り返りやニーズの再確認を行い、必要な対応につなげている。/6名 ケア記録をもとに職員間で情報共有し、必要な対応につなげている。/3名 家族から生活歴などを聞き、必要な対応につなげている。/1名	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
①～④利用者の集中力や理解力が低下している事や職員が少ない事等から、関わる時間が減ってしまう。/2名 意欲低下の見られる利用者、やりがいのあることを提供できない。/2名 認知症により日によって本人の希望が異なり、本当のニーズがわからない。/1名 家族と本人の気持ちにずれがあるため、必要な対応につなげることが難しい。/2名	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
ケアプランや小規模計画書の更新をした時には周知し、職員個人で読む時間を作る	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5 年 9 月 8 日 (17 : 51 ~ 18 : 15)

3. 日常生活の支援

メンバー 松田、鷺谷、佐藤、工藤、山下、吉川、森本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	12 人	0 人	0 人	12 人

前回の改善計画	ケアプラン、小規模計画書に沿ったサービス提供の内容や日常の様子を記録に残す
前回の改善計画に対する取組み結果	記録を書く回数は増えているが、ケアプランや小規模計画書を読んでいないため内容に沿っていないことがある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか?	0	3	8	1	12
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	6	6	0	0	12
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1	11	0	0	12
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	3	9	0	0	12
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	2	9	1	0	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①本人との会話の中で生活歴などを聞き出すようにしている。/1 名 ②自分でできていることを継続できるよう支援している。/2 名 本人の状態や変化に合わせて日常的な支援を行っている。/4 名 ③ケア記録やカンファレンスで情報共有し、本人のできることが継続できるようにしている。/4 名 ④体調や行動の変化時などは記録に残し、職員間で共有している。/6 名 体調変化時は家族や医療機関などと情報共有し対応できている。/2 名 ⑤通い、訪問、泊りなど必要に応じて支援できている。/1 名	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
①情報が少なく、フェイスシートだけでは以前の暮らし方 10 個以上は把握できていない。/4 名 勤務体制により訪問や送迎など自宅へ行く頻度が少なく、生活状況の把握が難しい。/1 名 利用者の入れ替わりが多く生活状況の把握が追い付かない。/1 名 ②時間に制限があるとできることも手伝ってしまい、ゆとりを持った介護ができていない。/1 名 独居の時はできていたことが家族と同居することにより自分でしなくなった。自分でできることはしてほしいと本人に伝えても今までの家族との関係もありアプローチが難しい。/2 名 ③認知症により意思疎通が難しい方や言動が毎回変わる方は、本人の意向に沿った支援が難しい。/2 名 本人の思いより家族の思いで支援することがある。/1 名	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
ケアプラン、小規模計画書に沿ったサービス提供の内容や日常の様子を記録に残す	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年9月8日(18:16~18:30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 松田、鷺谷、佐藤、工藤、山下、吉川、森本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	10人	1人	0人	12人

前回の改善計画	本人から自宅での生活の様子がかかる話を聞いた時には記録する
前回の改善計画に対する取組み結果	本人や家族から生活の様子を聞き取るよう意識しており、聞いたことは記録し職員間で共有できている

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	8	4	0	12
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	0	7	5	0	12
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	6	6	0	12
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	7	5	0	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>①近隣住民、ボランティア、友人との関わりを把握するようにしている。地域の方でも、訪問回数が増えたことで生活スタイルが見えてきている。本人の生活スタイルを守るための支援や声掛けをしている。</p> <p>②役割分担、サービスを調整している。</p> <p>③送迎時や入浴時など、集中的な会話の中で自宅での出来事など聞き取りしている。/9名 家族から最近の様子や休みの日の過ごし方など聞き取りしている。/5名 訪問看護などと情報共有している。/1名 ぼろか入居者は訪問回数が多く把握できている。/1名</p> <p>④本人や家族との関わりから必要な地域資源を考察している。/1名 必要な方は、さわやかゴミ収集などの地域資源を活用している。/2名</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>①独居の方は本人と関係する人に会うことができず、生活スタイルや人間関係を把握しにくい。/4名 普段の関わりでは細かな点まで把握できない。/3名</p> <p>②重度化し施設入居希望となると、通いと泊りが増え地域との関係が切れてしまう。地域との関係はほぼない。/1名</p> <p>③自宅での様子を把握できている方と把握できていない方がいる。</p> <p>④地域資源の利用や民生委員との関わりについては不明なことが多い。/2名</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
地域資源の学習はしているが把握まではいたらないため、引き続き地域資源の学習を継続し把握できるようにする	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年9月8日(18:31~18:40)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 松田、鷺谷、佐藤、工藤、山下、吉川、森本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	10人	1人	人	12人

前回の改善計画  
その日、その時の本人の様子や経過がわかるように記録する

前回の改善計画に対する取組み結果  
以前よりも会話内容や興味を持って行っていたことの記録が増えている。一方で、その時だけの記録で次回に活かしていない、その後の経過が記録されておらず、わからないことがある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1	10	1	0	12
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	6	6	0	0	12
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	4	8	0	0	12
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	4	7	1	0	12

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

①有償ボランティア、ヘルパーステーションかえでの自費事業、配食サービス、さわやか収集、日常生活自立支援制度、主治医、訪問診療、薬局、訪問看護、訪問リハビリ、情報共有やサービス調整できている。/5名

②状況に合わせて泊りや通いの調整ができている。/5名  
気温上昇や体調に合わせて訪問回数を臨機応変に増やしている。/4名

③利用者の変化時は記録に残し、職員間で情報共有できている。/4名  
良い変化が必要な情報であるという意識が不十分のため、良い変化の記録が残りにくい/2名  
以前よりも会話内容や興味を持って行えたことの記録が増えている。/1名  
定期的なカンファレンスで、利用者の変化や対応について情報共有している。/1名

④本人に合わせた席や活動を提供している。/1名

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

②食事や入浴だけの通いとなっている方は、なかなか通い時間が伸ばせず活動提供できていない。/1名  
訪問すると家族が既に支援を行っており、訪問が必要なかわからないことがある。/1名

④本人の希望より家族の希望が優先されているように感じる。/1名  
遠方にいる家族に情報共有できない。/1名  
急に利用者が増えると、把握しきれない。/1名

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)  
経過がわかるように記録する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年9月8日(18:41~18:45)

6. 連携・協働

メンバー 松田、鷺谷、佐藤、工藤、山下、吉川、森本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	6人	5人	1人	0人	12人

前回の改善計画	地域資源について職員が持ち回りで調べ、職員会議の中で学習する
前回の改善計画に対する取組み結果	地域資源について持ち回りで調べて学習している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	1	6	2	3	12
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	0	1	2	9	12
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	0	2	2	8	12
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	0	4	3	5	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①医療機関、訪問看護、福祉用具などと情報共有し、必要な意見をもらっている。/2名 ②~④地域資源について調べ、学習会を実施した。/3名 地域のコミュニティスペースへの外出、介護予防ひまわりサークル、幼稚園児やノホロの丘小学生の施設来訪など、徐々に地域交流が再開してきている。/6名 近隣の幼稚園の花火大会を泊り利用の方で見た。/4名 役職者の会議参加。/2名	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
②~④新型コロナウイルス感染予防のため、地域交流やイベントがほとんど実施できていない。/6名 役職者以外の職員が会議やイベントに参加する機会がない。/5名	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
地域の活動やイベントへ参加し、地域との交流を増やす	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年9月8日(18:46~18:50)

7. 運営

メンバー 松田、鷺谷、佐藤、工藤、山下、吉川、森本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4人	8人	0人	0人	12人

前回の改善計画	リーダーを中心に担当している委員会の年間計画を立て、実行する
前回の改善計画に対する取組み結果	4月より委員会リーダーを中心に活動方針や活動目標、年間活動計画を立て、役割分担し計画に沿って実行している。今後、1年取り組みを継続し総括する予定となっている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか?	0	8	4	0	12
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	11	0	0	12
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	6	5	1	12
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	0	0	9	3	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①職員会議やカンファレンスなどで、職員として運営に関する意見を発信できている。/4名 ②送迎時などに家族からもらった意見を共有し、サービスに反映できている。/2名 利用者楽しく過ごせてもらえるような環境を整えている。/1名 ③④会議の中で苦情についてカンファレンスや報告書等で共有し、職員間で対策を共有している。/5名 ④運営推進会議を再開し、地域の状況を共有している。 外出行事の際、地域の方に挨拶したり隣にある地域コミュニティスペースなどに見学へ行った。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
③④新型コロナウイルス感染予防のため地域交流がなく、地域の課題や要望を理解できていない。/5名 立地や宣伝不足から、事業所について地域の人に知ってもらえていないと感じる。/3名 新型コロナウイルス感染予防のため、町内会の行事に参加できなかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
職員も運営推進会議へ参加し、地域の要望や意見を聞く機会を作る	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年9月8日(18:51~18:55)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 松田、鷺谷、佐藤、工藤、山下、吉川、森本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	8人	4人	0人	0人	12人

前回の改善計画	
毎月、利用者のカンファレンスを実施する	
前回の改善計画に対する取組み結果	
ケアプラン更新前に多職種で小規模計画書の評価や見直しを行い、状態にあわせ支援内容に変更している。4月より、定期的なカンファレンスも実施している。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	3	6	1	2	12
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	2	3	6	12
③	地域連絡会に参加していますか	0	0	1	11	12
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	10	1	0	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①②	毎月の職員会議で法人共通学習会を行っている。/6名
④	事故発生後は迅速に事故カンファレンスを実施し、報告書で対策を共有できている。/6名 リスクマネジメントに関する学習会を実施し取り組んでいる。/3名

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
①	勤務の体制上、会議に参加できないときもある。 外部研修に行くタイミングが合わず、参加できていない。/10名
③	地域連絡会への参加ができていない。/2名

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
定期的な利用者カンファレンスを継続する	



事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年9月8日(18:56~19:00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 松田、鷺谷、佐藤、工藤、山下、吉川、森本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	10人	2人	0人	12人

前回の改善計画  
声の大きさや話の内容など場に見合う言動をする  
前回の改善計画に対する取組み結果  
排泄の声掛けは本人の近くでなるべく小声で話しかけるようにしている。  
一方で、難聴の方と話す際、筆談などは使わず大きな声で排泄の声掛けをしてしまう。職員間での利用者情報の申し送りの声が大きくなる。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	10	2	0	0	12
②	虐待は行われていない	10	2	0	0	12
③	プライバシーが守られている	1	9	2	0	12
④	必要な方に成年後見制度を活用している	4	7	1	0	12
⑤	適正な個人情報の管理ができています	2	9	1	0	12

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
①身体拘束が必要な時には同意をもらっている。/1名  
職員会議で身体拘束についての研修を行った。/2名  
②職員会議で虐待の研修を受けており、内容を理解している。/3名  
③パットなど必要時、エプロンに隠して持っていくなどの配慮をしている。/3名  
排泄の声掛けは本人の近くでなるべく小声で話しかけるようにしている。/3名  
④成年後見制度を必要な方に提供している。/2名  
本人が適切に判断できるよう説明し、サービス調整の際に意思を尊重している。/1名  
⑤職員会議で個人情報管理についての研修を行った。/1名  
申し送り時、内容によっては名前を言わないようにしている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
③難聴の方と話す際、筆談などは使わずに大きな声で排泄の声掛けをしてしまう。/5名  
⑤職員間での利用者情報の申し送りの声大きい。/3名  
利用者に関するメモや書類を他利用者訪問時に忘れて置いてきてしまうことがあり管理の仕方を検討した

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)  
声の大きさや話の内容など場に見合う言動をする

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 協立いつくしみの会	代表者	石山 建治	法人・ 事業所 の特徴	当法人は特別養護老人ホームを中心に厚別区内に3つの拠点があります。 事業所はサービス付き高齢者向け住宅と地域密着型通所介護を併設しています。家庭的な雰囲気を大切に、個々に合わせたケアや活動を提供しています。また、体調や身体状況に合わせ臨機応変にサービス調整しています。
事業所名	小規模多機能ホーム かりぶ	管理者	松田 梨香		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	1人	2人	0人	0人	1人	0人	3人	3人	10人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認			職員全員で取り組んだことを確認した。	
B. 事業所のしつらえ・環境			窓が大きく景観の良い環境だと感じた。不適切な個所は見当たらない。	引き続き消毒、換気など安心して利用してもらえる環境を作る。落ち着いて過ごせる環境作りや季節を感じられる飾りつけを行う。
C. 事業所と地域のかかわり			地域包括支援センターへの相談は、すでに事業所に相談した後が多く、地域に事業所が知られていると感じる。 コーラスで訪問するようになり事業所の理解につながった。	
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み			町内のイベントに参加し地域交流できていると思う。	地域イベントへの参加、散歩、ドライブなど地域に出ていく機会を作る。
E. 運営推進会議を活かした取組み			事業所紹介のチラシを町内の回覧で配布、周知することができた。コーラスのボランティアに繋がりが、互いに楽しみをもつことができ嬉しい。 家族の参加があるとより良い。	町内や地域の取組み等を情報交換し、事業所で参加できることや取り組めることを実施していく。家族が参加できる方法を考え、実践する。
F. 事業所の防災・災害対策			避難訓練に参加し消火器の使い方など一緒に学びたい。避難所まで行けない方の一時避難所として利用できないだろうか。	地域の方にも避難訓練に参加してもらい一緒に学習できる機会を作る。